

2022年5月13日

各 位

上場会社名 アールビバン株式会社  
 代表者 代表取締役会長兼社長 執行役員 野澤 克巳  
 (コード番号 7523 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 取締役執行役員 経営企画室長 樋口 弘司  
 (TEL 03-5783-7171)

## 特別損失（減損損失・損害賠償金）の計上及び 通期の連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）において、下記のとおり、特別損失（減損損失・損害賠償金）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、2021年6月21日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失（減損損失・損害賠償金）の内容

##### (1) 減損損失の計上について

主に、子会社T S Cホリスティック株式会社が運営するホットヨガ事業の店舗設備及びフィットネス事業の店舗設備の建物等の固定資産（資産グループ）において、将来の使用見込がなく廃棄することが決定されたもの及び営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額227百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

##### (2) 損害賠償金の計上について

2022年3月22日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」等のお知らせに記載のとおり、誤謬により、2016年以降の売上原価の一部に計上漏れがあることが判明したことに伴い、当該取引先への支払漏れに対し、遅延損害金をお支払いいたしました。その他関連の費用を含め147百万円を遅延損害金として特別損失に計上いたしました。

#### 2. 2022年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異について

##### (1) 2022年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,600	1,900	1,850	1,100	103.54
今回修正予想 (B)	10,253	2,159	2,414	1,150	106.91
増減額 (B-A)	653	259	564	50	—
増減率 (%)	6.8	13.7	30.5	4.6	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	7,886	1,412	1,593	428	40.50

##### (2) 差異の理由

版画等の発送が順調に推移したこと、高額美術品の売却があったこと等により売上高、営業利益は前回発表予想を上回る結果となりました。経常利益の増加の主な要因は、投資有価証券売却益125百万円、為替差益179百万円の計上により前回発表予想を上回る結果となりました。これらにより、上記1.記載の特別損失の計上がありました。親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る結果となりました。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上